

Organization

第6号 2025年11月21日

JRSE労働組合

発行責任者・山本真治

しかたなく動き出したJRSE！

11月12日、私たちJRSE労働組合は、度重なるJR東海新幹線エンジニアリング株式会社（以下、会社という）の団体交渉申し入れ拒否に対して、大阪府労働委員会に「あっせん申請」を行いました。すると直に大阪府労働委員会が会社と連絡を取り、11月21日に会社が労働委員会へ出向いて話がされることになりました。

11月18日、会社窓口から突然電話が！

すると、今まで団体交渉の申し入れを拒否し続けて来た会社窓口の増田課長から組合窓口の小林書記長に電話がかかってきました。増田課長の話は、

- ①申し入れの第1号が手元にあります。
- ②会社としては団体交渉をやる考えです。
- ③支社には対応窓口がありませんので、今後の会社窓口は私でお願いします。
- ④まずは顔合わせをして、結成された組合の組合人数などを教えてもらいたい。
- ⑤交渉の場は、他労組もそうしていることもあり、東京開催をお願いしたい。
- ⑥日程と場所につきましては、またあらためて連絡させて頂きます。

これに対して小林書記長は、

- ①②③そうですか、やっと対応してくれましたね。受け取り拒否などせずに、最初からそういう対応をしてくれればいいのに。なんで拒否なんかしたんですか？
- ④顔合わせと自己紹介は団体交渉の前段できます。早急に団体交渉を開催して下さい。
- ⑤私たちは大阪の労働組合です。大阪での開催を要求します。
- ⑥いつ返事を頂けますか？できるだけ早くお願ひしますよ。それから「申し入れ」は第1号だけではありません。受け取り拒否された第2号（労働協約の締結について）と第3号（年末手当について）もありますよ。郵送しますので、今度は拒否せずに受け取ってくださいよ。よろしくお願ひします。

11月21日、労働委員会から連絡！

使用者側に話を伺いました。使用者としては、既に団体交渉に応じる旨を伝え、日程と場所の調整中だと聞きましたので、経過を見守りたいと存じます。つきましては、団交場所と日程が決まりましたら、ご連絡ください。よろしくお願ひします。

JRSEさん、誠実な対応をしてくださいよ？！